

わ のお店屋さんは完売 しあわせの村まつりで賑わう



賑やかな呼び込みの わ の果物屋さん

「美味しいバナナに、オレンジはいかがですか」店員さん顔負けの呼び込みで、グループ わ 本部の出店“果物屋さん”が大賑わいでした。7月29日夜に開かれたしあわせの村の「第16回村まつり」に協賛して、グループ わ から6つの団体がお店を出してまつりを盛り上げました。

芝生広場の会場ではジャズ演奏やクイズ大会、漫才などの催しのあと、恒例の盆踊り、花火大会があり、大勢の観客で賑わいました。中央緑道の両側には、40数軒の出店が軒を連ね、かき氷、タコ焼き、ジュースなどが飛ぶように売っていました。

グループ わ からは本部の果物屋さんはじめ、絵手紙グループの絵はがき、クッキーの会のケーキ、クッキー、クッキンググループのから揚げの販売をして、いずれも1~2時間で完売する人気ぶり。またロビーの会がバザー、昔あそび研究会がブンブンゴマや紙トンボなどを披露してこども達を喜ばせていました。

マジックの秘技に喚声

スキルアップ講座に参加して

福9 - 文 千原 美哉子



紐に結び玉をつくるのに苦勞する受講者

朝夕は、肌に秋の気配を感じ、しあわせの村のテニスコートの坂道には、

往く夏をおしむかのように、百日紅が咲いている日の9月8日。シルバーカレッジホールで、インストラクターの門脇淳子さんの指導の下に、レクリエーション講座が開かれ大盛況でした。

いずれもグループ わ の会員で、ボランティア活動に熱心な約40人の人たちが受講していました。講座が始まると、皆さんの目がキラキラと輝いて、童心に返っているようでした。

童謡、昔遊び、マジック等があり、特にマジックは「一度やってみたかった」という声が聞こえてきました。手順を教わるのですが、なかなかうまくゆきません。紐に結び玉を二つ作る手品を見た時には、思わず「オー」。全員がびっくりです。

このあと日頃体験しないような事を教わりました。遊びに使ったロープや紙のおもちゃ等を頂いて帰りました。門脇先生お一人で下準備されたとか、大変なお手間だったと思います。初秋の楽しいひと時でした。

フルーツフラワーパーク 園内ガイド活動を開始!!

理事 藪口 卓也

7月にフルーツフラワーパークの園内ガイドを募集したところ、14名の参加申し込みがありました。早速、応募者全員が2回の研修のあと、9月から案内ガイドを始めました。

案内ガイドの内容は土、日、祝日に入園ゲート付近で、当日のイベントやフルーツ狩りの案内、ファミリー会員申込みの説明など多岐に渡りますが、来園者からは大変な好評を受けています。

参加者からは、なかなか遣り甲斐のある仕事だとの感想がありました。1日に2人が交代で案内していますが、同園としては3人に増やしたいとの意向で、新しい仲間を募っています。

足の便は、少々不便ですが、自然に恵まれた広大な空間の中で、月1回程度活動してみませんか。参加をお待ちしています。12~3月は冬休みです。

季節の草花 生8 - 文 久保 知彦 ス ス キ

ススキは昔から人生とは切っても切れない間柄の植物で、旧石器時代の遺跡からも発見されています。それはチガヤなどとともにカヤとして最良の屋根葺き材料として有史以前から使われて来たイネ科の植物だからです。秋の七草としての尾花は花にあたる穂の部分がいいです。「俺は河原の枯れすすき」という船頭小唄や、「幽霊の正体見たり枯れ尾花」など、暗いイメージもありますが、お月見には欠かせない植物です。(今はこの風景もすたれたか?)

昭和20年の春、疎開令がでて、私は石川県の祖母のもとに単身で預けられました。都会とは違って空襲もなく平和な暮らしに見えましたが、学校では勉強よりも畑の世話や堆肥作りなどの作業の記憶のほうが多くあります。

中でも軍馬のための干し草を1貫5百(約5.6kg)作る課題があり、ススキやチガヤを刈り取る作業に追われました。納入の日、とびきり小さな身体の私には一度に運べないので2度に分けて炎天下の長い道を学校まで運びました。祖母は90歳で亡くなるまで、事あるごとにこの話をしていました。

